

平成 28 年度入学試験問題

数 学

(90 分)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子は開かないでください。
2. この問題冊子は 6 ページあります。試験中、ページの脱落等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
解答用紙(マークシート)の汚れなどに気づいた場合も、同様に知らせてください。
3. 解答用紙(マークシート)は折り曲げたり、汚したりしないでください。
4. 解答は、すべて解答用紙(マークシート)に記入し、解答用紙(マークシート)の枠外には、なにも書かないでください。
5. 試験問題は問題記号ア〜ルで 41 問あります。
解答用紙(マークシート)には、問題記号がア〜ンまで印刷されています。解答にあたっては、問題記号ア〜ルの範囲内で該当する解答欄に解答してください。
6. 解答上の注意は、裏表紙に記載してあるので、この問題冊子を裏返して必ず読んでください。ただし、問題冊子を開いてはいけません。
7. マークは必ず HB の黒鉛筆を使用し、訂正する場合は、完全に消してからマークしてください。
8. 監督者の指示に従って、解答用紙(マークシート)に解答する科目・受験番号をマークするとともに、受験番号、氏名を記入してください。
9. 解答する科目、受験番号、解答が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
10. 筆記用具以外は、使用しないでください。
11. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[I]

$$(1) \frac{x^2 + 10x + 5}{x^3 + x^2 - x - 1} = \frac{\boxed{\text{ア}}}{x+1} + \frac{\boxed{\text{イ}}}{(x+1)^2} + \frac{\boxed{\text{ウ}}}{x-1} + \frac{\boxed{\text{エ}}}{(x-1)^2}$$

(2) 一般項が $a_n = 3^n - 2^{100}$ である数列 $\{a_n\}$ について、 $a_n > 0$ となる最小の n は $n = \boxed{\text{オ}}$ である。ただし、 $\log_{10} 2 = 0.3010$, $\log_{10} 3 = 0.4771$ とする。

(3) 2直線 $y = 3x + 2$ と $y = -4x - 5$ のなす鋭角を θ とすると

$$\tan \theta = \frac{\boxed{\text{カ}}}{\boxed{\text{キ}}} \text{ である。}$$

(4) 等式 $f(x) = |x+1| + |x| + \int_{-2}^2 f(x) dx$ を満たす関数 $f(x)$ について、
 $\int_{-2}^2 f(x) dx = \boxed{\text{ク}}$ である。

(5) 方程式 $xy + 3x - 2y = 66$ を満たす自然数 x, y の組は全部で $\boxed{\text{ケ}}$ 個ある。

〔Ⅱ〕

(1) 1, 2, 3 の数を1つずつ書いたカードがそれぞれ3枚ずつ合計9枚ある.

この中から4枚のカードを取り出し, 1列に並べて, 4桁の整数をつくる.

(a) 1が1個も含まれない整数は全部で 通りある.

(b) 各位の和が奇数である整数は全部で 通りある.

(c) 偶数または3の倍数である整数は全部で 通りある.

(2) 数列 $\{a_n\}$ が次で定められている.

$$a_1 = 2, \quad 3^{n+1}a_{n+1} + 20a_{n+1}a_n + 3^n a_n = 0 \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

(a) $b_n = \frac{3^{n-1}}{a_n} - \frac{\boxed{\text{ス}}}{\boxed{\text{セ}}}$ とおくと, 数列 $\{b_n\}$ は, 初項 $\boxed{\text{ソ}}$, 公比 $\boxed{\text{タ}}$ の等比数列となる.

(b) 数列 $\{a_n\}$ は

$$a_n = \frac{\boxed{\text{チ}} 3^{n-1}}{\boxed{\text{ツ}} 3^{2(n-1)} + \boxed{\text{テ}}} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

で定められる数列である. ただし, $\boxed{\text{ツ}}$ は正の数であり, $\boxed{\text{ツ}}$ と $\boxed{\text{テ}}$ は互いに素である.

〔Ⅲ〕 円 $C: x^2 + y^2 = 1$ 上を動く動点 P がある. P における C の接線を l_P とする.

(1) $P\left(\frac{1}{2}, -\frac{\sqrt{3}}{2}\right)$ のとき, l_P の方程式は

$$y = \frac{1}{\sqrt{3}} \left(\boxed{\text{ト}} x + \boxed{\text{ナ}} \right)$$

である.

(2) P の y 座標を p とする. P が C 上を $p \neq 0$ を満たしながら動くとき, l_P と曲線 $y = x^2 - 2$ で囲まれる部分の面積 S を p で表すと

$$S = \frac{1}{6} \left(p \boxed{\text{ニ}} + \boxed{\text{ヌ}} p \boxed{\text{ネ}} + \boxed{\text{ノ}} \right)^{\frac{3}{2}}$$

である. したがって $p = \frac{\boxed{\text{ハ}}}{\boxed{\text{ヒ}}}$ のとき, S は最小となる.

[IV]

(1) 関数

$$y = 4 \left(\tan^2 \frac{x}{2} \right) \left(\cos^2 \frac{x}{2} - \sin^2 \frac{x}{2} \right) \left(1 - \sin^2 \frac{x}{2} \right)^2 \quad \left(\frac{\pi}{4} \leq x \leq \frac{\pi}{3} \right)$$

とする.

(a) $\cos x = \frac{2}{3}$ のとき, $\tan^2 \frac{x}{2} = \frac{1}{\boxed{\text{フ}}}$ であり, $y = \frac{\boxed{\text{へ}}}{\boxed{\text{ホ}}}$ である.

(b) y^2 の最大値は $\frac{\boxed{\text{マ}}}{\boxed{\text{ミ}}}$ であり, 最小値は $\frac{\boxed{\text{ム}}}{\boxed{\text{メ}}}$ である.

(2) 座標空間に $O(0, 0, 0)$, $A(1, 0, 1)$, $B(1, 2, 0)$, $C(0, a, 2)$ がある.

(a) 点 C が平面 OAB 上にないとき $a \neq$ である.

(b) $\triangle ABC$ の面積が最小となるのは $a =$ のときである.

(c) 点 $C_0(0, \text{ }, 2)$ から平面 OAB に垂線 C_0H を下ろす.

$\vec{C_0H} \perp \vec{OA}$, $\vec{C_0H} \perp \vec{OB}$ より,

$$\vec{OH} = \frac{\text{ }}{\text{ }} \vec{OA} + \frac{\text{ }}{\text{ }} \vec{OB}$$

(d) 四面体 $HABC_0$ の体積は $\frac{\text{ }}{\text{ }}$ である.

解答上の注意

問題の文中の などには数値が入ります。それらを解答用紙のア, イ, ウ, …で示された解答欄にマークして答えなさい。

1. 解答欄の各桁の該当する数字の欄にマークしてください。
2. 解答が負数の場合のみ符号欄にマークしてください。
3. 分数形 $\frac{\text{}}{\text{}}$ の部分では、既約分数(それ以上約分できない分数)で表し、分母は必ず正とします。また、この形で整数を表すときには、分母を1とします。
4. 根号の中は、正の整数であって、2以上の整数の平方で割り切れないものとします。

解答記入例: に -5 と解答する場合

符号	10 の 桁	1 の 桁
エ	● (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) ● (6) (7) (8) (9) (0)

に 57 と解答する場合

符号	10 の 桁	1 の 桁
カ	(1) (2) (3) (4) ● (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) ● (8) (9) (0)

解答表示例

$\frac{\text{}}{\text{}}$ に $-\frac{3}{2}$ を当てはめる場合には $\frac{\text{}}{\text{}}$, 0 の場合には $\frac{\text{}}{\text{}}$ とします。

$\frac{\text{}}{\text{}} \sqrt{\text{}}$ に $-\frac{\sqrt{3}}{2}$ を当てはめる場合には $\frac{\text{}}{\text{}} \sqrt{\text{}}$ とします。

$\text{} x^3 + \text{} x^2 + \text{} x + \text{}$ に $-x^3 - x + 1$ を当てはめる場合には $\text{} x^3 + \text{} x^2 + \text{} x + \text{}$ とします。